

特定非営利活動法人千葉県障害者就労事業振興センター
2014年度事業計画(案)

1. 2014年度重点事業

(1) 千葉県工賃向上計画の目標達成に向けた施策

①工賃向上計画の有効性評価

年間60事業所を対象、さらに10事業所を対象にフォローアップ評価を実施

②工賃向上ワークショップ(第7期)

対象者：就労継続支援B型事業所の管理者またはサービス管理責任者(9事業所)

今期からワークショップ既修者を対象としたパワーアップ研修を実施

(2) 小型家電リサイクル法の施行を踏まえ、障害者就労事業所等による小型家電リサイクルネットワークの強化および市町村との連携

①昨年度発足させた「ちばリサイクルネット」の基盤強化

②障害者就労事業所等が小型家電等のリサイクル事業に参画し、資源リサイクル事業を通じた障害者の就労拡大、工賃向上を図るための市町村との連携強化。昨年度開始した船橋市との連携事業の他市への水平展開

③民間のリサイクル排出事業者等とスキームを構築し、2014年度の売上高1,000千円を目標とする。

(3) 障害者優先調達推進法の施行を踏まえ、官公需発注促進に向けた強化策

①障害者就労事業所等からの物品購入、役務提供などの検索システム「チャレンジド・インフォ・千葉」の開発、運用。原則としてB型事業所は全事業所が登録する体制を構築する。

②官公需受注窓口サテライト事業所、市町村自立支援協議会(就労分野)との連携による官公需開拓、振興センターが官公需共同窓口として契約主体となり、事業所に業務を提供する体制に向けた準備(2015年度から契約主体としての活動を予定)。

③2014年度は共同受注の売上高1,000千円を目標とする。

2. 2014年度実施事業

(1) 集合研修

①食品表示法に対応するための食品製造、販売事業所向け研修

(9月実施、100名対象)

②福祉施設会計塾(年間4回、四半期ごとの開催)

従来の経理担当者対象の就労支援事業会計に加え、管理者を対象とした管理会計についても学習。

(2) 個別研修・相談

①製菓製パン個別相談（7月実施）

製菓製パンのプロと事業所の製菓製パン担当者との1対1の相談会。現物とレシピなどを参考に、具体的なアドバイスを実施。

②店舗相談（店舗設計、陳列、デザイン等）

店づくり全般について、新店舗の設計段階からリフォーム、模様替えまで、商業施設士が現地を訪問しアドバイスを実施。

③パッケージデザイン相談

商品パッケージや店舗のロゴなどのデザインを、商品デザイナーが現地を訪問、ヒアリングを行いデザイン案を提案。

⑤コンプライアンス個別相談

生産活動、販売活動の商取引などの相談に、必要に応じ振興センターの顧問税理士を紹介。食品表示法や家庭用品品質表示法に順守した商品、商品表示について、専門家とのメール相談を実施。

(3) 販売関係

①はーとふるメッセ千葉寺店、県庁店

千葉寺店、県庁店2店舗での年間売上17,200千円を目標とする。

市民、県民（ハーモニープラザ、県庁職員含む）に向けて、障害者福祉との接点の場として積極的な広報を行う。

②合同販売会「はーとふるメッセ」

県内大型ショッピングセンター、年間5回開催（富津、津田沼、柏）

消費者と生産者（福祉事業所）が直接触れ合う場として、商品の陳列や接客に前向きに取り組んでもらう（商業施設士によるアドバイスを実施）。食品表示についての改善提案も同時に実施する。

(4) 事業支援

①農サポ（農業技術支援）

農業、農産加工の専門家を事業所に派遣。年間を通して農業技術指導を実施。

生産量や品質の向上だけでなく、販路拡大、売上拡大につなげるための支援を実施。

(5) 啓発活動

・「第6回はーとふるメッセ実りの集い～はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー2014～」

開催予定：2015年3月

会場：幕張メッセコンベンションホール

以上